

## 第63回上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会

### 3年ぶりの熱戦を制し4連覇

第63回上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会（上南戦）が、南山大学を主催として7月1日から3日にかけて開催された。上南戦は、1960年の第1回大会以来、毎年開催されている伝統ある大会で、今年は3年ぶりの開催となった。大会初日は開会式が行われ、校歌斉唱や応援団によるエール交換など、盛り上がりを見せた。2日目は9勝9敗、最終日は3勝4敗と南山大学が追い上げを見せたが、総合成績17勝15敗で、上智大学が4連覇を制した。



戦ウェブサイトに掲載されている。  
<http://www.johann-sports.jp/>  
また、2日には「戦わない上南戦」として、「Johann Meets Expo 2022」と題したイベントも開催された。このイベントは、両大学の文化系の課外活動団体が交流を図る目的で行われた。学生による講演会「大学生だからこそ『今』でできること」とや、両大学の所在地である東京・愛知の魅力について語り合うワークショップ、そして両大学の類似団体同士による交流企画などが催された。

上南戦での活躍を称え、学長賞と特別賞が発表された。受賞団体・受賞理由は次のとおり。  
上南戦学長賞  
▼弓道部：3年ぶりの上南戦前哨戦初戦にて男女共に勝利を収め、本学の4連覇に勢いをつけた。  
▼女子バレーボール部：各セットにおいて大接戦を制し、8大会ぶりの勝利をストリート勝ちで飾った。

6月27日から7月4日の昼休みに、グローバル教育センター主催イベント「留学フェア」上智の留学プログラムを知ろう」が開催された。

留学経験者を囲む座談会  
学生が参加し、留学について情報収集を進めるきっかけとなった。

初日に、森下哲朗グローバル推進担当副学長が挨拶。  
「上智大学には多様な留学プログラムがある。貴重な留学の機会を活用するため、積極的に情報収集して万全な準備をして進んでほしい」と話した。続いて、大学が提供する留学プログラムを理解してもらうことを目的とした、5日間のプログラムを通して、対面・オンラインを含め延べ約300人の学生が参加し、留学について万全な準備をして進んでほしいと話した。続いて、大学が提供する留学プログラムを理解してもらうことを目的とした、5日間のプログラムを通して、対面・オンラインを含め延べ約300人の学生が参加し、留学について万全な準備をして進んでほしいと話した。

## 上智浴衣デー2022

### 3年越しの開催で華やぐキャンパス

7月8日、「上智浴衣デー2022」が開催された。大学創立100周年を迎える今年、3年ぶりに開催された。



年の2013年に記念企画として始まり19年まで回を重ねてきたが、20年、21年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。今回は3年ぶりの開催となった。主催はイベントの企画や運営を行う課外活動団体「nexxect」。留学生の日本文化体験活動として、浴衣姿で交流する機会を提供し、学生や教職員など、学内の活性化を目的としている。

当日は天候に恵まれ、前回は参加者数の2倍を超えた。6号館1階では、言語教育研究センターとの共催で、複数の言語で短冊に願い事を書く「ピノチヤリティー」も、浴衣デーに花を添えた。上智浴衣デー2022代表の笹尾直人さん（国教3）は、「今年は3年ぶりの開催ということもあり不安な点も多かったが、結果的には例年よりたくさんの方々に参加いただき、大変盛り上がった浴衣デーとなりました。来年以降も、皆さんにより楽しんでもらいたい浴衣デーを作りたい」と話している。

笹尾さん（左から2人目）ら運営メンバー

大勢の観衆が演奏を楽しんだ

日本文化体験企画は留学生にも好評

## ウクライナ留学生歓迎会

### 日本での新たな挑戦に期待

7月21日、ウクライナ人留学生を歓迎するセレモニーが開催された。本学は一般社団法人パスウェイズ（日本・ウクライナ教育学生対象の短期プログラム）と連携し、8人のウクライナ人留学生を受け入れた。留学生たちは6月下旬からエイズ・ジャパンによる日、7月から外国人留学者対象の短期プログラム「日本・ウクライナ教育学生対象の短期プログラム」を受講している。セレモニーは森下哲朗グローバル推進担当副学長の司会のもと、はじめに、道佳明学長が「皆さんはもうソフィアアミリーの1員です。自己紹介を日本語でする学生が多く、なにより日本語で話す学生もおり、熱心に日本語学習に取り組む姿勢が素晴らしい」と歓迎の言葉を述べた。続いて、本学の同窓会組織であるソフィア会の鳥居が、全員が口を揃えて「ようこそ日本へ」と歓迎の言葉を述べた。

1940年生まれ。69年東京大学大学院人文研究科修士課程修了、72年上智大学大学院神学研究科修士課程修了。73年本学文学部講師、79年同助教授、89年同教授、2005年同特別契約教授、09年神学部特別契約教授、史。著書に『日本倫理思想史研究』（共著、ペリカニ社）、「宗教のこころ」（共著、みくに書房）、「多神と一神との邂逅」（共著、平河出版社）など。専門は日本倫理思想史。



宗正孝名誉教授逝去  
7月22日、心不全のため死去。82歳。95年4月〜2001年3月図書館長などを務めた。

10年から本学名誉教授。73年10月〜78年3月学生寮舎長、84年4月〜89年3月総務担当理事、95年4月〜2001年3月図書館長などを務めた。